

宜野湾市農水産業振興拠点施設

『ぎのわんゆいマルシェ』

平成23年4月26日(火)11:00 オープン



タームもあるよ

豊富なお魚



現在、宜野湾漁港内で建設中の『ぎのわんゆいマルシェ』が4月26日オープン決定しましたのでお知らせします。新鮮な水産物や農産物をお手軽なお値段で買い物ができる『ぎのわんゆいマルシェ』をよろしくお願ひします。

お問い合わせ：農水振興課 ☎893-4411 (内線443)

戦闘員を上回る、多くの民間人が戦争の犠牲となったことは、沖縄戦の特徴の一つとしてこれまで多くの指摘がなされてきました。銃弾や砲弾が無数に撃ち込まれた「弾痕の塀」は、たと

え民間の集落であっても、ひとたび地上戦となれば否応なく戦闘に巻き込まれることを伝えるものです。戦争体験者の減少が危ふまれる近年、沖縄戦を継承する取り組みの一環として戦跡の活用がこれまでになく注目されています。戦争体験を聞き、そして戦争体験を語り継ぐ営みを通して、高台公園の「弾痕の塀」は、嘉数の沖縄戦の実相を私たちに語りかけてくれているのです。

市民の皆様もご存知のように、嘉数地域は沖縄戦における最激戦地の一つでした。嘉数高地(現高台公園)を中心に、日米両軍による一進一退の血なまぐさい攻防戦が約20日間にわたって展開され、嘉数区はもちろんその周辺地域においても、地域住民の約5割に相当する方々が戦争の犠牲となりました。

「弾痕の塀」が語る沖縄戦

「宜野湾市史」への問い合わせ
教育委員会文化課 ☎893-4430



▲「弾痕の塀」(1952年)

(文責 清水史彦)

茶

ぐわーゆんだく

83

